

東京藝術大学音楽学部

早期教育プロジェクト2024 in 仙台

金管楽器部門

2024年12月1日 [日] 日立システムズホール仙台

11:00-11:50	講師陣によるミニ・コンサート（交流ホール）
	式典のための行進曲『栄光をたたえて』～金管6重奏のための 作曲：内藤 淳一/編曲：渡部 哲哉
	亜麻色の髪の乙女 作曲：Claude Debussy/編曲：Brian Raby
	故郷の人々 作曲：Stephan Foster/編曲：伊左治 直
	NewYork, NewYork 作曲：John Kander/編曲：前田 憲男
	サウンド・オブ・ミュージック 作曲：Richard Rodgers /編曲：福田 洋介
11:55	開講式

13:30-14:20	楽器ごとのグループレッスン①

14:30-15:20	楽器ごとのグループレッスン②

15:40	閉講式
16:00	終了（予定）

※講師陣によるミニ・コンサートの録音・録画および写真撮影、SNS等への掲載は固くお断りいたします。

※講師陣によるミニ・コンサートは未就学児入場不可です。

※グループレッスンは、途中の入退室は自由です。満席の場合、ご入室いただけないことがございます。

※グループレッスンを受講するお子様（小・中学生）のプライバシー保護の観点より、取材関係者および本学公式スタッフ以外の会場内での録音・録画および写真撮影、SNS等への掲載は固くお断りいたします。

藝大と地域とが協働して取り組む、逸材発掘プロジェクト。2014年度に文部科学省国立大学機能強化事業の一環として始まり、藝大教員が日本各地に赴いて、子どもたちにレッスンをを行います。

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」は、音楽家を目指そうという子どもたちの夢を応援することを目的に2014年度に始まりました。全国のホールや自治体、さまざまな団体の皆さまに支えられ、また2018年度からは全日本空輸株式会社様からのご支援もいただいて、本学の教員が全国各地を訪れています。11期目となる2024年度は9都市での開催を予定しています。少子化や経済的理由による芸術家の道を歩む若者が減少し、しかもかなり早い段階で夢を断念してしまうという状況は簡単には変わるものではありません。しかし各地で子どもたちの瑞々しい感性とスポンジのような吸収力、来場した皆さまの音楽への熱量に触れるたびに、互いに刺激し合い音楽を深めることの意義を感じています。このプロジェクトが一つのきっかけとなって、夢へ向かう気持ちや音楽することの喜びが地域にいつそう広がることを心から願っています。

東京藝術大学音楽学部長 杉本 和寛

◎ミニ・コンサート出演&グループレッスン講師



杉本 浩規 (トランペット)

名古屋芸術大学音楽学部卒業。トランペットを、(故)和久田照彦、津堅直弘各氏に師事。卒業後、東京フィルハーモニー交響楽団に入団。1991年NHK交響楽団に移籍。国際ロータリークラブのスカラシップを得てシュトゥットガルト演劇音楽大学に留学。H.ヴォルフ、H.ロイビン両氏に

師事。22年間勤めたN響を辞め、2012年より東京藝術大学音楽学部准教授に就任。2019年より東京藝術大学音楽学部教授に就任。現在に至る。国立音楽大学、聖徳大学各非常勤講師。埼玉県草加市文化協会評議員。日本トランペット協会常任理事。飛騨高山ヴァルトオーケストラ顧問。Tokyo G Brass、N-crafts、各メンバー。



関根 美羽 (トランペット)

茨城県ひたちなか市出身、8歳でトランペットを始める。第20回日本ジュニア管打楽器コンクールソロ部門トランペットコース金賞、文部科学大臣賞。第29日本クラシック音楽コンクールトランペット部門高校性の部第4位。第14回関西トランペット協会コンクール課題曲部門第1位。トランペットを杉本浩規、菊本和昭、佐藤友紀、井川明彦、辻本憲一、澤畑仁美の各氏に師事。東京藝術大学4年次在籍中。



日高 剛 (ホルン)

長崎大学を卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。帰国後、広島交響楽団に入団、その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を務めた。現在、東京藝術大学准教授。



古賀 慎治 (トロンボーン)

東京藝術大学在学中に東京文化会館推薦音楽会オーディション合格。日本管打楽器コンクール第1位。プラハの春国際音楽コンクールファイナリスト、ディプロマ賞受賞。新日本フィル首席、東京都交響楽団を経て、現在東京藝術大学教授。



露木 薫 (ユーフォニアム)

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。在学中、第3回日本管打楽器コンクールにて第3位入賞。芸大モーニング・コンサートに出演。卒業時には同大学同声会新人演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。同大学院音楽研究科に入学後渡仏、パリ国立高等音楽院にユーフォニアムでは日本人として始めて入学し、審査員全員一致の一等賞にて卒業。在学中、第6回日本管打楽器コンク

ールにて第1位入賞。ソリストとして、また吹奏楽や管弦楽でのユーフォニアムやバス・トランペットのエキストラ奏者として数多くのコンサートやレコーディングで演奏している。現在は東京藝術大学非常勤講師の他、名古屋音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、愛知県立芸術大学講師を務めている。



佐藤 和彦 (チューバ)

国立音楽大学卒業。フィリップ・ジョーンズ国際コンクール(仏)チューバ部門第3位。第43回マルクノイキルヒェン国際コンクール(独)チューバ部門第2位。これまでに稲川榮一、柏田良典の両氏に師事。現在、新日本フィルハーモニー交響楽団首席チューバ奏者。東京藝術大学、国立音楽大学、くらしき作陽大学、平成音楽大学非常勤講師。日本ユーフォニアム・チューバ協会副理事長。